

原発事故から学ぶ、 放射線とリスクの考え方

福島第一原子力発電所の事故以降、放射線に多くの人が関心を持つようになりました。放射線の防護を理解するうえで、「リスク」の考え方を学ぶことは欠かすことができないものです。事故から2年経過しましたが、放射線リスクとの納得できる付き合いは、まだまだ、難しいのではないのでしょうか。そこで、市民公開講座として放射線リスクの考え方を深く見つめなおす機会をつくりました。各分野の専門家にご講演いただくとともに、不安に思っていることについて参加者との討論を行い、避け得ない放射線との付き合い方について理解を深めて戴くことを目的としてこの公開講座を開催いたします。

講演Ⅰ 「リスクとは何か」

神里達博

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任准教授

講演Ⅱ 「暮らしのリスクと放射線」

神田玲子

放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター 上席研究員

講演Ⅲ 「原発事故から考える、マスコミ・報道のあり方は」

斗ヶ沢秀俊

毎日新聞社 水と緑の地球環境本部長

Ⅳ パネルディスカッション

座長：高橋浩之

放射線安全フォーラム 副理事長、東京大学大学院 教授

2013年

7/20(土)

13:30～16:30

(13:00開場)

会場

お茶の水女子大学
共通講義棟
2号館 102号室

(〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1)

交通案内 東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅徒歩7分

対象 放射線に対して関心や不安を持つ一般の方

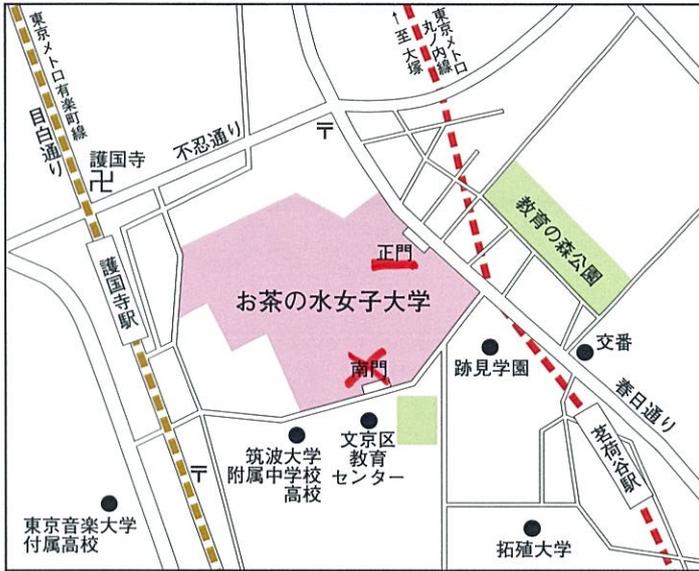
参加申込 <http://www.rsf.or.jp/>
よりお申し込みください(当日参加可)

問合せ先 E-mail mail@rsf.or.jp
TEL 03-3818-0456

参加費無料

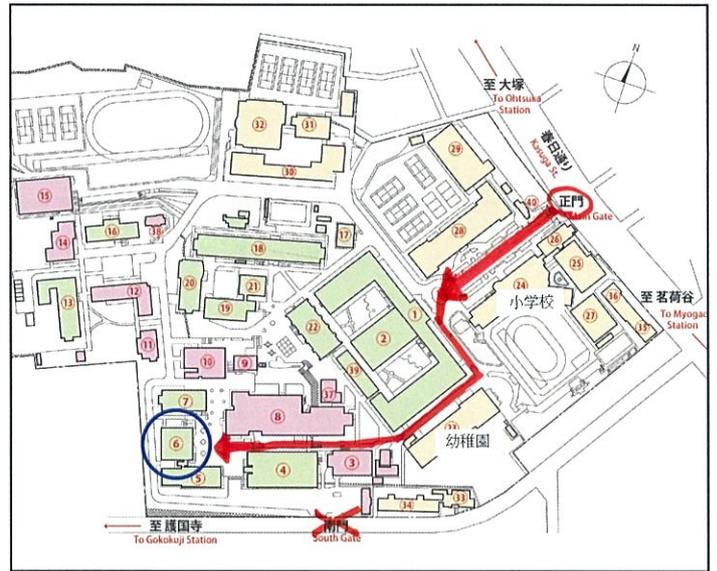
会場案内図

お茶の水女子大学アクセスマップ



開催日の土曜日は南門が閉まっていますので
正門をご利用ください

お茶の水女子大学構内図



⑥共通講義棟 2号館



NPO放射線安全フォーラムの沿革

1985年に放射線防護を専門とする有志が集い、放射線の利用と放射線の防護について語り合う放射線防護研究会が生まれました。その後、さまざまな分野の人たちがこの語らいの場に加わり、情報交換と相互研鑽を目的とした勉強会を定期的で開催するようになりました。放射線防護研究会は、20年以上活動を継続し、勉強会の開催は125回を数えました。この間、研究会のメンバーの中からは、さまざまな分野で安全の中核を担う優秀な人材が多数輩出しました。また、研究会は、国際放射線防護委員会（ICRP）の1990年と2007年の基本勧告改訂に際して、放射線防護の専門家集団としてコメントをしてきました。

このような放射線防護研究会の活動に強固な基盤を与え、活動の幅を広げるため、研究会有志の発案により、放射線防護研究会を母体としてNPO法人放射線安全フォーラムの設立を図ることとし、東京都よりNPOの認証を受けました（2007年8月）。今後、積極的に社会貢献を果たす活動を開始いたします。

あなたもNPO放射線安全フォーラムに参加しませんか

当会への連絡先：NPO 法人 放射線安全フォーラム 事務局

住 所：〒105-6027 東京都港区虎ノ門 4-3-1 城山トラストタワー 27F 税理士法人 AKJ パートナース内
電 話：03-3818-0456 ファックス：03-5803-4885
e-mail：mail@rsf.or.jp
Home Page：http://www.rsf.or.jp